

第8回太平洋・島サミット（PALM8）

首脳宣言（骨子）

冒頭【パラ1-3】

- 共同議長である安倍総理及びトウイラエパ・サモア首相並びに福島県及びいわき市に対する謝意を表明。仏領ポリネシア及びニューカレドニアの参加を歓迎。
- 福島県及びいわき市の東日本大震災からの復興の着実な進展を歓迎。太平洋島嶼地域において発生した各種自然災害の被害者に対する深い哀悼の意を表明。

PALMプロセス及び持続的なパートナーシップに向けた戦略的ビジョン【パラ4-9】

- 日本と太平洋島嶼国のパートナーシップに対する力強いコミットメントを表明するとともに、PALMプロセスの重要な役割を評価。
- 日本と太平洋島嶼国のパートナーシップを導く共有されたビジョンを確認：①ルールに基づく秩序を通じた安定の維持；②持続的な繁栄の追求；③人の往来及び交流の強化；④地域の協力及び統合への支持。
- 日本は、太平洋の地域的安全、繁栄及び環境一体性を確保するため、「青い太平洋」に対する太平洋島嶼国首脳のコミットメントを認識。
- 安倍総理は、太平洋島嶼国への支援の継続に関する日本の断固とした決意を表明。太平洋島嶼国は、地域における日本の外交的プレゼンスの強化を高く評価。

法の支配に基づく海洋秩序及び海洋資源の持続可能性【パラ10-19】

- 首脳は、太平洋において、法の支配に基づく自由で、開かれた、持続可能な海洋秩序の重要性を強調し、それが地域の平和、安定、強靱性及び繁栄に貢献することを認識。その観点から、太平洋諸島フォーラム（PIF）加盟国の首脳は、太平洋における協力及び発展に対して日本が「自由で開かれたインド太平洋戦略」等を通じて行う積極的かつ建設的な貢献を歓迎。
- 航行及び上空飛行の自由、そのほかの国際的に適法な海洋の利用を含む国際法の尊重並びに紛争の平和的解決の重要性で一致。法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の確保のため、海洋安全保障及び海上安全の分野において緊密に連携する意図を確認。
- 漁業資源の持続可能な利用の確保のための互恵的な漁業取決めを含め、持続的な協力関係の重要性を再確認。
- 違法・無報告・無規制漁業の根絶に向けた協力深化へのコミットメントを表明。
- 安倍総理は、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序及び海洋資源の持続可能性の確保を支援するため、今後3年間で500人の能力構築措置の実施を表明。

強靱かつ持続可能な発展のための基盤の強化【パラ20-32】

- 強靱で、持続可能かつ自立的な社会の形成のために、島嶼国固有の脆弱性を踏まえた、気候変動、防災及び環境保全の取組の重要性を確認。
- 保健、教育、ジェンダー、情報通信技術（ICT）、貿易及び投資の促進、観光等の分野での協力の強化に関する認識を共有。太平洋諸島センター等の取組や経済

ミッションの派遣を歓迎。

- 太平洋島嶼国は、質の高いインフラ整備及び運輸交通の手段の提供を通じた地域の連結性強化のための日本の協力を歓迎。主権及び平和的利用を尊重し、国際スタンダードに則った、開かれ、透明で、非排他的かつ持続可能な形での、そして、主権及び平和的利用を尊重する質の高いインフラ整備の重要性を強調。

人的往来・交流の活性化【パラ33-41】

- 航空便の充実，数次査証の導入，スポーツや日本語教育等の分野における人的・文化交流の活性化の重要性を強調。
- 第二次世界大戦時の戦没者の遺骨の帰還，不発弾，戦没者慰霊碑の適切な維持・管理を含む，共有された過去に関する問題への対処に関する協力を確認。
- 安倍総理は，青年海外協力隊，シニア海外ボランティア等を通じた人材育成への協力を継続する意図を表明。

国際場裡における協力【パラ42-48】

- 国連安全保障理事会の正当性，実効性及び代表性の更なる向上の必要性を再確認。太平洋島嶼国は，日本の国連安全保障理事会の常任理事国になることに対する支持を改めて表明。
- 首脳は，「朝鮮半島の平和と繁栄，統一のための板門店宣言文」を歓迎し，来る米朝首脳会談を通じ，朝鮮半島の完全な非核化に向けた北朝鮮の具体的な行動への期待を表明。生物・化学兵器を含む全ての大量破壊兵器，弾道ミサイル及び関連施設の完全な，検証可能な，かつ，不可逆的な方法での廃棄に向けた平和的かつ外交的な解決の追求の重要性を強調。国連安全保障理事会決議の完全な履行等，北朝鮮に対する圧力の継続に対するコミットメントを表明。「瀬取り」を含む北朝鮮の制裁回避戦術への深刻な懸念を表明し，北朝鮮関連船舶の船舶登録の解除を含めた各国の努力の加速化の必要性を強調。
- 拉致問題の即時解決の重要性を確認。

PALM8期間における協力活動【パラ49-50】

- 安倍総理は，日本が，PALM7で約束した550億円以上の支援並びに4,000人の人材育成及び人的交流の実施を達成した旨表明。
- 安倍総理は，これまでの実績を踏まえて，従来同様のしっかりとした開発協力を継続するとのコミットメントを表明し，今後3年間で5,000人以上の人材育成・人的交流の実施を約束。

結語【パラ51-52】

- PALMプロセスの下での進展を管理し，フォローアップするための効果的な方法を追求し続けることの重要性を強調。太平洋島嶼国は，2021年にPALM9を開催すると日本の提案を歓迎。PALM9の前の第4回中間閣僚会合の開催を決定。